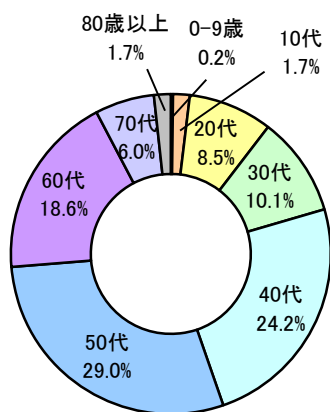


伝教大師1200年大遠忌記念 特別展「最澄と天台宗のすべて」

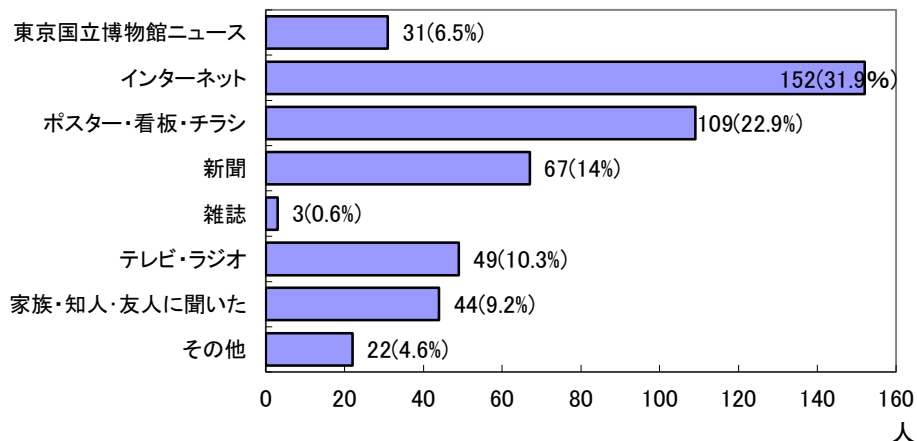
アンケート集計結果

開催期間：令和3年10月12日（火）～11月21日（日）（36日）
 総入館者数：63,977人
 回答者数：418人

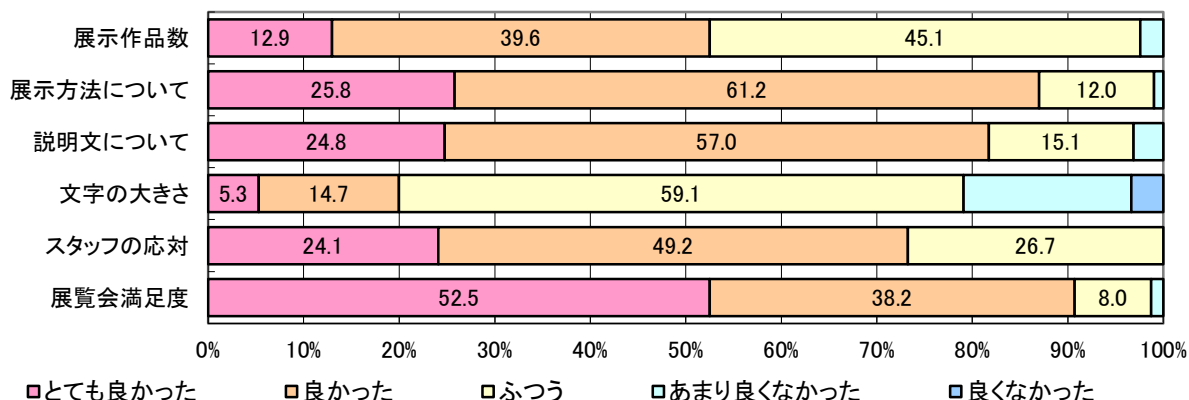
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・ 普段見ることのできない秘仏をたくさん見ることができてよかった。
- ・ 国宝や重要文化財が多数あり、見ごたえのある展示だった。
- ・ 歴史の流れ・結びつきの分かる展示構成だった。
- ・ 事前予約制で混雑なく、観覧することができた。
- ・ 展示室内の椅子を増やしてほしい。
- ・ 展示パネルの文字を大きくしてほしい。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	2.4	0.0
展示方法	1.0	0.0
説明文	3.1	0.0
文字サイズ	17.5	3.4
スタッフの対応	0.0	0.0
展覧会の満足度	1.3	0.0

(%)

2021年は、伝教大師最澄の1200年の大遠忌にあたる年でした。本展では、延暦寺における日本天台宗の開宗から、東叡山寛永寺を創建して太平の世を支えた江戸時代に至るまでの天台宗の歴史をご紹介します。また、日本各地で守り伝えられてきた貴重な宝物や、『法華経』の説く万民救済の精神をあらわす文化財を、地域的な特色を示しながらご覧いただくことができ、秘仏をはじめ、天台の名宝が集う貴重な機会となりました。

本展会期中に、本展を観覧しアンケートに答えた90.7%の方から「とても良かった」「良かった」との好意的な意見が寄せられました。新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き事前予約制を導入したことで、混雑なくご観覧いただいたこと、そして秘仏、国宝や重要文化財をはじめとした作品構成が多くの来館者にご満足いただいた要因だと考えられます。一方で、展示室内の休憩スペースの増加や、解説パネルの文字を大きくすることへのご意見もいただきました。今後も来館者の皆様よりお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めて参ります。